

5 概 況

水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の給水人口は水道事業が 42,941 人、鶴形簡易水道事業が 548 人で、給水区域内の普及率は水道事業が 96.6%、鶴形簡易水道事業が 95.6%となっている。また有収率は、水道事業が 86.5%で前年度比 0.1 ポイントの減、鶴形簡易水道事業が 93.7%で前年度比 4.5 ポイントの増となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P4～5）。

経営成績を見ると、当年度純利益は合計 185,022,352 円で前年度と比較して 18,498,608 円（11.1%）の増となっている。この主な要因は、営業費用、営業外費用等の減によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P6～12）。

財政状況を見ると、資産は水道事業未収金の増により流動資産が増えた一方、減価償却により固定資産は減り、前年度と比較して 7,707,946 円（0.1%）の減となっている。また、負債は企業債や未払金等の減により、前年度と比較して 200,248,500 円（2.2%）の減となっており、資本は組入資本金や利益剰余金の増により、前年度と比較して 192,540,554 円（5.8%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P13～19）。

給水収益の収入状況を見ると、現年度分の収入率は水道事業が 98.3%、鶴形簡易水道事業が 99.4%となっている。繰越分の収入率は水道事業が 62.6%、鶴形簡易水道事業が 100.0%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P20～21）。